

平成 29 年度
芽室町議会モニター会議
総括報告書



平成29年度の芽室町議会モニターの活動では、322項目の提案・意見をいただきました。また、各常任委員会の抽出政策・事務事業や議会運営のほか、町政・まちづくりへに関するご意見として228項目が寄せられました。議会運営については、議会だよりやホームページ、SNSなどの活用を通して議会への関心を高め、町民の提案・意見をくみ取るための手法への提言、モニター制度の運営のあり方などについても広く意見をいただきました。町議会では、いただいた提案・意見をしっかりと議論を行い、次の議会に引き継ぐとともに、より進化した議会モニター制度の運用を進めていきます。

平成 30 年 7 月
芽室町議会

H29 議会モニター活動

1 議会運営への提言 (件数)

番号	内容	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	レポート件数	32 通	13 通	17 通	20 通	28 通	18 通
2	レポート意見件数※(1)	36 項目	16 項目	24 項目	32 項目	29 項目	26 項目
3	意見交換会回数	3回	3回	3回	3回	4回	3回
4	意見交換会・意見件数※(2)	15 項目	18 項目	21 項目	90 項目	342 項目	228 項目
5	モニター間意見交換会	2 回	—	—	—	—	—
6	モニター間・意見件数	18 項目	—	—	—	—	—
7	アンケート調査 ※(3)	—	—	53 項目	35 項目	43 項目	68 項目
	提案項目合計	69 項目	34 項目	98 項目	157 項目	414 項目	322 項目

【※(1)レポート意見件数の内訳】 (件数)

番号	分類項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	議会だより・HP・SNS	8	0	4	7	1	2
2	本会議	2	1	1	3	5	1
3	委員会・議員協議会	5	1	2	1	4	2
4	議会報告会・意見交換会	4	0	1	1	0	2
5	議会改革・活性化	10	7	10	10	4	1
6	議員との意見交換会	6	0	0	4	8	8
7	町政・まちづくり	1	7	6	6	6	10
	計	36 項目	16 項目	24 項目	32 項目	29 項目	26 項目

【※(2)意見交換会・意見件数の内訳】 (件数)

番号	分類項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	議会だより・HP・SNS	0	4	2	0	1	2
2	本会議	3	1	0	0	0	2
3	委員会・議員協議会	0	1	1	0	3	0
4	議会報告会・意見交換会	20	1	0	0	0	2
5	議会改革・活性化	9	1	3	8	70	69
6	議員との意見交換会	1	1	0	5	15	3
7	町政・まちづくり	0	9	15	42	163	27
8	抽出政策・事務事業	—	—	—	35	90	123
	計	33 項目	18 項目	21 項目	90 項目	342 項目	228 項目

【※(3) アンケート調査の内訳】

番号	分類項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	議会だより・HP・SNS			1	4	24	11
2	本会議			2	0	0	0
3	委員会・議員協議会			0	0	0	0
4	議会報告会・意見交換会			0	0	1	0
5	議会改革・活性化			2	0	1	1
6	議員との意見交換会			0	1	0	8
7	町政・まちづくり			13	6	0	4
8	抽出政策・事務事業	—	—	35	24	17	44
	計			53項目	35項目	43項目	68項目

2 モニター会議(議員との意見交換会)

会議等	日時	場所	参加数
議会モニター委嘱状交付式・ 説明会及び第1回モニター会議	H29.7.21 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	15
第2回モニター会議	H30.1.23 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	15
第3回モニター会議	H30.6.20 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	10
計3回			40

3 議会傍聴・議員研修会・議会フォーラムなどへの参加

内容	件数 (H24)	件数 (H25)	件数 (H26)	件数 (H27)	件数 (H28)	件数 (H29)
議会傍聴	68	21	15	6	21	19
議会フォーラム	23	7	4	3	4	4
議員研修会	12	1	3	4	3	6
計	103人	29人	22人	13人	28人	29人

平成 29 年度の議会の主な動き

議会運営委員会

議会運営委員会委員長 早苗 豊

5月1日	通年議会開会
5月17-18日	総務経済常任委員会先進地事務調査（福島県矢吹町・福島県泉崎村／災害告知ユーザー別端末について）
6月1-23日	6月定例会議開会
6月1日	第1回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第5期芽室町総合計画スケジュール等）
6月29日	H28年度第4回モニターを開催
7月4日	議員研修会（北海道町村議会議長会）
7月18日	7月稟議会議開会
7月21日	議員研修会（総務課地域安全係 佐藤春雄氏）
7月21日	第1回議会モニター会議を開会
8月9日	議員研修会（株アムリプラザ 岡山洋一氏）
8月28日	議員研修会（中尾 修氏 議会サポーター）
9月1-26日	9月定例会議開会
9月20日	第2回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（台風18号による被害状況）
10月5日	議員研修会（山崎幹根氏 議会サポーター）
10月6日	第1回議会改革諮問会議を開催
10月20日	10月臨時会議開会
10月22日	議員研修会（江藤俊昭氏 議会サポーター）
11月6日	第2回議会改革諮問会議を開催
11月7日	議員研修会（十勝町村議会議長会）
11月10日	議会報告と町民との意見交換会（6つの単位PTAと
～12月12日	実施）
12月26日	議員研修会（北大公共政策大学院院長高野伸栄氏）
12月1日-19日	12月定例会議開会
12月4日	第3回議会改革諮問会議
12月6日	芽室高校生徒との意見交換会
12月18日	白樺学園高校生徒との意見交換会
12月19日	第3回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第4期芽室町総合計画施策評価）
1月15日	議会モニター経験者との意見交換会を開催

12月19日	第4回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第4期芽室町総合計画施策評価）
1月16日	第5回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第4期芽室町総合計画施策評価）
1月22日	第4回議会改革諮問会議
1月23日	第2回議会モニター会議を開催
2月7日	2月臨時会議開会
2月14日	第5回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（芽室町地域防災計画の改正）
3月2日－22日	3月定例会議を開会
2月10日	議会未来フォーラムⅢを開催
3月9日	第5回議会改革諮問会議（提言書を会長から議長へ手交）
3月29日	議員研修会（青森中央学院大学 佐藤 淳氏）

- 定例会議 6月（6/1～23）、9月（9/1～26）、
12月（12/1～19）、3月（3/2～22）（17日）
- 臨時会議 5/1、7/18、10/20、2/7（4日）
本会議 計21日（道内町村議会平均10.6回）
- 予算決算特別委員会（14回）
- 役場庁舎建設に関する調査特別委員会（6回）
特別委員会 計21回（道内町村議会平均4.6回）
- 議会運営委員会（30回開催）（道内町村議会平均11.3回）
- 総務経済常任委員会（37回開催）
- 厚生文教常任委員会（34回開催）
常任委員会 計71回（道内町村議会平均8.7回）
- 合同委員会（6回開催）
- 全員協議会（12回開催）（道内町村議会平均7.5回）
公的会議回数 計161回（道内町村議会平均54.6回）
本会議議件数 計171件（道内町村議会平均103.3件）
- 議員研修会（11回開催）
- 一般質問者数 26人（延べ）
- 会議傍聴者数 計333人（本会議114人、委員会201人、
全員協18人）
- 議会だより発行ページ数 計120ページ（12か月）
- ホームページ年間アクセス件数 計12,732件（ネット中継9,305件）
- 議会報告と町民との意見交換会（議会フォーラム）参加者数 計277人（16会場）
- ホットボイス件数 計6通
- SNS登録者数 計1,378人（Facebook689人、LINE383人、twitter306人）

H29 芽室町議会活性化計画主要事業

- 1 議会政策形成サイクルの進化（議会基本条例 第2条（2）、第12条、第13条）
→ 政策立案に至るプロセスの強化と見える化を図ります。
- 2 町民との意見交換会の深化と充実（多様な住民参加機会の創出）
（議会基本条例 第4条（2）、第8条（1・5））
→ 多様な世代、立場の住民がまちづくりに関わる「場」創りを行います。
- 3 参考人制度・公聴会制度等の実践検討
（議会基本条例 第8条（3）、第29条（2・3））
→ 専門的・政策的識見等を議会の意思決定に反映させるため制度の活用研究を行います。
- 4 議員間討議（自由討議）の強化（議会基本条例 第3条（3）、第5条（2）、第16条）
→ 議論を集約し政策立案へ繋ぐためファシリテーション力と討議手法のスキルアップを図ります。

H30 芽室町議会活性化計画主要事業

- 1 議会政策形成サイクルの進化（議会基本条例 第2条（2）、第12条、第13条）
→ 政策立案に至るプロセスの強化と見える化を図ります。
- 2 町民との意見交換会の深化と充実（多様な住民参加機会の創出）
（議会基本条例 第4条（2）、第8条（1・5））
→ 多様な世代、立場の住民がまちづくりに関わる「場」創りを進めます。
- 3 議員間討議（自由討議）の強化（議会基本条例 第3条（3）、第5条（2）、第16条）
→ 議論を集約し政策立案へ繋ぐためファシリテーション力と対話力向上を図ります。

H29 芽室町議会活性化策 16 事項・評価

■前年度からの懸案事項	取組結果	取組内容
1. 議会図書室機能の整備	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎を想定した機能整備を検討する。 →新庁舎建設に向け、議会図書室の配置等は検討した。電子図書室の活用により議会図書室としての一定の機能整備は整っている。電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等「図書館要綱」の策定など、図書館設置に関するあり方の研究は、次期への申し送り事項とする。 ・町・公共・大学付属図書館等との蔵書情報の共有化を検討する。 →町図書館との連携で一般質問の関連図書の紹介コーナーを定例会議ごとに設置した。
2. 公聴会の検討	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公聴会制度について先進実施事例を研究する。 →公聴会制度をテーマとした議員研修会を実施した。課題となる実績はなかったが、必要に応じて開催するため研究は継続する。
3. 議会災害時対応基本計画の検証・評価・改善	A	<ul style="list-style-type: none"> ・町地域防災計画と連携して随時見直しを図る。 →議会 BCP 検証を踏まえ町と協議。災害時の情報共有等について確認した。 ・防災訓練を適宜実施する。 →防災訓練(安否確認)、HUG を議員研修の一環で実施。
■議会改革諮問会議の提言事項	取組結果	取組内容
4. 町民意見の協議経過の明確化	B	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより・HP 等で、意見から政策に繋がった事例を適宜紹介する。 →議会だよりで、一般質問から政策に繋がった「追跡！一般質問のその後」をコーナー化して掲載。一方で、意見交換からの意見など、政策や事業に反映されたものがあっても、十分に町民に「見える化」されていない。
5. 政策形成サイクルの改善	A	<ul style="list-style-type: none"> ・政策形成サイクルフロー図を町民が分かりやすく改善する。 →町民向けには分かりやすいフロー図を

		<p>作成した。評価ベースのフローは30年度中に実施しながら改善点を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会等で資料としてフロー図を添付し意見の取り扱いの流れを説明する。 →意見交換会等の資料として「意見提言要望等取り扱いフロー」を添付して説明した。 ・議会だより・HP等で政策形成サイクルフロー図を紹介する。 →議会だよりで、政策サイクルのイメージ図を紹介した。
6. 情報提供と説明の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の資料は事前に送付し予め理解を促す。 →町民（PTA）・高校生との意見交換、モニター会議では事前に資料を送付している。 ・開催当日は、意見交換の趣旨、テーマの論点を説明する。 →各意見交換開始時には、議会が課題としている抽出事業について説明（タブレット活用）している。 ・町民と議員が気軽に意見交換できる場を街中で開催する。 →常設・臨時問わず街中でも意見交換の場は設置していないことから、次年度に継続して検討する。
7. 意見交換会の内容・手法の創意工夫	A	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに応じてWS等の適切な対話手法を採り入れる。 →意見交換ではWS形式の手法を採り入れて行った。
8. 意見交換参加者への会議録の提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会終了後、2週間以内に会議記録を提供する。 →一部で、2週間を超えたものがあったが、おおむね2週間で会議録を送付した。
9. 意見交換会の意見等取り扱いの改善	A	<ul style="list-style-type: none"> ・要望事項は所管委員会が調査・検討を行い、一定の回答にまとめることを徹底する。 →各意見交換からの意見は、一定の集約後、各委員会の調査・検討事項として取り扱い、回答は、集約し総括報告書として公開する。
10. 多様な町民の意	D	<ul style="list-style-type: none"> ・町民を対象に無作為抽出のアンケートを

見聴取		実施する。 →必要とする事項がなかったため実施していない。今後も必要があれば実施していく。
11. 議員間討議力の向上	A	・討議力向上に向けた研修を実施する。 →討議力向上を目的とした研修会を議員会主催で2度実施した。
12. 委員会等開催の広報の充実	A	・じゃがバス広告、議論テーマを事前周知・モニターに傍聴促す (アンケートで結果を検証する) →一般質問の通告内容をじゃがバスへ掲示している。議会モニターには随時、傍聴可能な委員会等を周知している。
13. ICTの継続的な活用	D	・議会だよりの電子化(アプリ対応)の検討を行う →議会だよりの電子化(アプリ対応)の検討は行っていない。 ・テーマを決めて意見募集する。 →SNS等でテーマを決めた意見募集は行っていない。
14. 議会への意見に対する返答期間の明示	A	・意見交換会、SNSなどで議会へ寄せられた意見の回答・対応の期限を検討する。 →具体的な日数ということではなく、意見の取り扱い方を、各ツールの冒頭で明示する。
15. 町民間の情報共有化	A	・意見交換会の意見を、議会だより、HP・SNS等で公開する。 →意見交換の意見は、議会だよりに掲載しており、HPでは年度ごとにまとめた「報告書」で公開している。またSNSでは、開催の事実リアルタイムで公開しているなど、現状の広報ツールで一定の共有化は行われている。
■議員自己評価事項	取組結果	取組内容
16. 傍聴意欲の向上	D	・記名式による傍聴人受付簿のあり方について研究する。 →研究は未着手で、次年度への継続検討事項である。

議会政策形成サイクル等の取組内容・状況

総務経済常任委員会

総務常任委員会委員長 中野 武彦

①地域資源を活かした観光振興

町民との意見交換会では、本町における【観光】の要として、新嵐山スカイパーク周辺の利活用に関するご意見が多く寄せられました。新嵐山荘の経営主体や設備改修、展望台の環境整備や活用手法、スキー場の設備更新、H28年台風10号により被災したキャンプ場の早期の復旧、夏季も子どもたちが楽しめる環境づくりへの要望、豊かな芽室の食資源を活かした新嵐山を拠点とした観光振興策への提案など、新嵐山スカイパーク一帯のフィールドは多くの町民にとって、親しみがあり、可能性に満ちた重要な観光資源であることが委員会内で共通認識を持つことができました。

一方、委員間討議においては、本町における観光とはどうあるべきなのか、どの様な展開にしていくのかを示すビジョンが存在せず、現在町が取り組んでいる様々な事業を効果的に展開していくには、観光振興における計画が必要であることや、老朽化した新嵐山スカイパーク施設改修にかかる費用など、今後の課題も明らかになりました。

現在、町は行政改革、観光振興の両面から新嵐山スカイパークのあり方について検討を重ねています。また、2年目を迎えるサイクルツーリズム事業や、平成30年度からは地域おこし協力隊の雇用による観光振興策などは、今後も経過を注視する必要があると、総務経済常任委員会では次年度以降も「地域資源を活かした観光振興」について調査を継続していくことを確認しました。

②農村地域公共交通手段

平成29年11月27日に開催した第23回総務経済常任委員会において、担当課から農村地域における【自力移動困難な高齢者】の移動手段対策として、今後はタクシー運賃助成の方向で取り組むとの説明がありました。

各委員からは「運転免許証を返納した高齢者のほかにも、学生や冬期間の運転が困難な町民に対しての支援や対策はどう考えるのか」などの質疑がありました。

その後の議員間討議では、町が示す方策だけでは農村地域における公共交通手段が確立されたと考えるには十分ではなく、課題が残されていることを確認しました。

町民との意見交換会においても、「現在は家族の協力のもと高齢者の移動手段は確保できているが、将来への不安がある」「タクシー運賃助成以外にも何か手法があるのではないか」などの意見があり、課題解決にむけては今後も調査が必要であることから、総務経済常任委員会では、次年度以降も「農村地域公共交通手段」について調査を継続します。

厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会委員長 正村 紀美子

①公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

○平成29年度の取り組み

公立芽室病院は、平成29年5月に「新・改革プラン」を策定しました。しかし入院・外来ともに患者数は伸び悩み、病床利用率は2年連続で70%を大きく下回る結果となりました。平成29年度も厳しい状況が予測され、プランの見直しを余儀なくされています。当委員会では、病院の経営状況を四半期ごとに調査を行い、病院経営の改善策について説明を受けました。委員間では、病院経営は深刻な状況にあるが、地域医療確保の観点から今後も維持していく方向で一致しています。

○課題および次年度にむけた方針

地域医療を確保するためには、多様な選択肢があります。医師や看護師を確保し診療体制を充実させることや病院経営が維持できるような診療報酬を見直すよう国に要望を提出するべきなどの意見がある一方で、病院は地方公営企業であり独立採算制の原則から経営の健全化を求めるべきとの意見もあります。次年度においては地域医療の確保と健全経営をどのように両立させていくか、委員会として調査・議論を積み重ねていきます。

②高齢者福祉の充実

○平成29年度の取り組み

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定にむけ調査を実施しました。

○課題および次年度にむけた方針

介護職員の待遇改善と介護サービスの質と量の充実は課題であります。平成30年度から始まる福祉人材確保対策事業の状況を調査していきます。

③スポーツしやすい環境づくり

○平成29年度の取り組み

当委員会は平成29年4月に「町民プール維持管理事業に対する提言書」を教育委員会に提出しました。今年度はその後の対応について調査を行い、温水プールの整備方針を確認しました。芽室公園野球場の改修工事は、次年度に大規模修繕を実施する方向であることを調査しました。

○課題および次年度にむけた方針

平成30年度に策定される温水プール基本構想では、提言にもとづき周辺の社会体育施設のあり方や施設の複合化など提言項目が反映されているかを調査します。野球場は大規模改修工事完了後に現地調査を実施します。

④学校教育の充実

○平成29年度の取り組み

教員の多忙化、超勤解消については陳情の提出があり、当委員会に付託され陳情審査では参考人を招致し「採択すべきもの」としました。（本会議において全会一致で採択）奨学金制度、子どもの安全確保、部活動については各委員が質疑や一般質問を行っています。

○課題および次年度にむけた方針

少子化の影響と教育環境の今後のあり方、運動部活動の運営の適正化、教員の多忙化解消対策は、教育委員会の方針並びに今後の対応について調査します。コミュニティ・スクールは教育委員会、学校、地域が十分な共通認識に立って事業が進められていることが重要であり、引き続き調査を行っていきます。

⑤生涯学習の推進

○平成29年度の取り組み

今年度は「生涯学習」というテーマではなく、学校教育、社会教育、子育てや高齢者支援などの個別施策として調査を進めました。

○課題および次年度にむけた方針

「第5期芽室町生涯学習推進中期計画」策定について調査を行いません。

⑥安心して生み育てることができる子育て支援

○平成29年度の取り組み

子どもの居場所づくり事業は、委員会として論点を整理し、これをもとに調査を実施しました。発達支援事業やその他の子育て支援事業についても調査を行い、子どもや保護者への支援の質の充実を求めました。子どもの医療費助成については委員が一般質問を行っています。

○課題および次年度にむけた方針

子どもの貧困対策は事業として取り組みがはじまったばかりです。今後は対象者へ支援が届いているか、不足している支援はないか、支援の質の充実を求めています。障害児政策は地域支援に重点をおく事業のあり方や障がい児の相談事業への民間委託など障害児政策の転換期にあることから「第1期障がい児福祉計画」や平成30年度に策定される「芽室町発達支援計画」を調査します。

平成 29 年度第 1 回議会モニター会議 意見交換会の概要

平成 29 年 7 月 21 日（金曜）午後 6 時 30 分～20 時 30 分
芽室町中央公民館 2 階講堂

- 出席：井原有二、川野陽美、佐々木玄徳、鳥本和宏、中捨智也、廣田由美、山川昌則、長谷川修、武藤雅紘、岩佐幸治、高道 豊、加藤順子、藤村八重子、松岡みちよ、木村真之、小森豊弘(15 人)
議員(15 人)
- ・自己紹介の後、早苗議会運営委員長からモニター制度について説明。
質疑なく、意見交換に入る。

↓総務経済常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 地域資源を生かした観光振興

①嵐山について

- ①実は嵐山に行ったことがないのでわからない。
→今年は見に行ってみたいと思う。
- ②野草の種類が豊富にあるが、あまり町民には知られていないのでは。
- ③以前、展望台でオカリナの演奏をしてもらったことがある。また、そういった展望台で演奏会を開催してはどうか。
- ④以前はレンタサイクルもあったがいつのまにはなくなってしまった。
- ⑤キャンプ場の復旧は？
→視察の状況を報告し、未定であることを伝えた。

②新嵐山スカイパークは素晴らしい自然環境や景観を活かしきれていない

- ①芽室町には直接関係ないが北海道を特集する TV 番組などでも展望台からの景観を使用されることが度々ある。あの景観は【THE 北海道】として広く周知されていると思う。
- ②缶コーヒーのラベルにもなっている
- ③天空カフェは期間限定、助成金ありきの事業であったため、持続可能な企画内容ではなかった。ここに民間の力（発想力、資金）を活用する事が出来ると良いと思う。継続を求める声も多くある。
- ④展望台の整備については様々な規制があり観光を目的にした整備が出来

ないことがもったいない

- ⑤老朽化しているスポーツ施設を整備して、スポーツ合宿誘致をしてはどうか。
- ⑥キャンプ場も再整備し、パークゴルフ場も面白味のあるコースにする。家族で出かけるときには本別公園にいつってしまうが同様に親子で遊べる環境を整えてほしい。
- ⑦【町民のための施設】なのか【外部から人を呼び込む施設】なのかコンセプトが曖昧。
- ⑧【グランピング（高級感のあるサービスが充実したキャンプ場）】に近隣自治体が取り組み始めている。イニシャルコストは高額かもしれないが、道外や管外からの富裕層からのニーズが高く、年内には黒字になると予想されている。
- ⑨「嵐山+α」があると強みになると思う。もっと周知も必要。こまめな情報発信を心がけるべき。

③ サイクルツーリズムについて

- ①3か年計画では計画が完成したころにはサイクリングブームが去ってしまうのではないかと？他自治体では既に事業が始まっているなか、【芽室ならではの魅力】がないと観光客は呼び込めない。スピード感も必要。
- ②現在不通になっている上美生の橋が開通すれば中札内と繋がる。中札内で開催されているサイクルイベント【グルメフォンド】と連携して嵐山をコースに加えてもらう事が可能ではないか。

(2) 農村地域公共交通手段

① 交通弱者は高齢者だけではない。農村地域の高校生も公共の通学手段がない。

- ①朝や夕方のスクールバスの間の時間帯にバスを出せないのだろうか。
- ②まだ自分自身は車に乗れるので必要性を感じていない。
- ③自分の親も高齢になってきた。農村地域でもじゃがバスの運用など手段を検討してほしい。
- ④近所の人で乗り合いをする場合には、事故のことなど心配

② スクールバスの利活用

- ①学校の登下校優先のバスダイヤの為、大人が利用するには不便な面がある。
- ②高校生にも【部活バス】が利用できると助かる。現在の【部活バス】は中学生でも乗れない時間設定である。利用状況に見合ったダイヤにしてほしい。

- ③南小校区の子どもセンターが開設後は、2時台4時台のバスの利用者が少なくなるのではないかと（子ども達がセンターを利用するため）。その分、遅い時間帯にスライドさせればもっと効率よく利用できるのではないかと。

③新しい交通手段の検討

- ①上美生で行われた乗り合いタクシーの実証実験は、補助事業であったため資金がないと継続できない。新しいスタイルを考える必要がある。現在は地域住民によるライドシェアを検討中。万が一の際の事故補償など課題の解決が必要。
- ②中札内居住の家族は、週に数度、玄関前までバスが迎えに来て市街地まで送迎するサービスを受けている。毎日でなくてよいので芽室町にもデマンドサービスがあると良い。
- ③海外でも浸透しているUber（合法的な民間の白タク）が、日本でも実現可能になると解消できるのかもしれない。

④視点を考える

- ①高齢者福祉の観点から考えると、農村地域から中心市街地に移り住むとコンパクトシティ構想からの視点も必要ではないかと。

2 その他

①ゴミステーションについて

- ①ゴミステーションについて、ネットにだけ助成するのではなく、箱型のものにも助成をしてはどうか。町としてしっかりと整備してほしい。
→カラスなどの被害も減り、もっときれいになると思う。

②屋外防災放送について

- ①通常時も災害時も屋外の放送が聞こえないのでなんとかしてほしい。

③河川管理について

- ①昭和47年にも水害があったが、その時の教訓が活かされなかったのではないかと。
- ②十勝川の底ざらいはしないのだろうか。また同じような雨が降ったらと思うと不安になる。
→十勝川は国の管理となることを説明。
- ③美生川パークゴルフ場はいつ復旧になるのか。
→H32年と説明。

3 議会運営

①議会の開催手法

- ①傍聴したいが日中は難しい。たまには夕方や夜間に議会を開催してもらえると傍聴に行ける。
- ②青空議会のような開かれた議会も開催してはどうか。

↓厚生文教常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

- ①子どもの医療費の無料化を願う。定住促進と併せて病院運営を考えては。経済優先か、公立芽室病院だからこそできる必要な病院であってほしい。
- ②農村部における通院のための送迎バスを運行してほしい
- ③病院経営は厳しいが財政的な問題だけで片付けるのではなく、町民の「健康維持」のための施設と見るべき
- ④小学生の通院医療費を無料にしてほしい

(2) 高齢者福祉の充実

- ①老人ホームになかなか空きがでない。入所施設を芽室に作って欲しい。
→介護保険の会計で行っているため、介護施設を作ることによって、芽室の介護保険料がUPすることになる。(議員)
- ②高齢者が活動する組織を充実する。趣味も含めて、健康増進、地域貢献につながる。
- ③けいせい苑・りらく等へ入居希望してもなかなか難しい施設の充実(建設)をしてほしい。
- ④介護保険料が高く生活が大変。
- ⑤介護職員の増員、待遇改善をおこなうべき。

(3) スポーツのしやすい環境づくり

- ①プールの建て替え、修繕は寒冷地仕様が必須条件である。
- ②少年団・部活動にはお金がかかる。
- ③送迎が大変。地域で支えあえる環境の構築が必要。

(4) 学校教育の充実

- ①食育教育の仕組みをつくる。自然を生かし、感性を豊かにする。地域社会

が子どもたちを受入れ、体験や現場の課題と向き合わせるようなカリキュラムはできないだろうか。芽室町の農業の特色、地域課題も教える必要がある。

- ②子どもの貧困対策で短期短時間でも農サポーターとして受け入れ、親への支援を行う。
- ③芽室小・中と芽室西小・中児童・生徒数に大きな格差があり、少年団活動が限定的になっている。
- ④給食費の無償化の実現。

【総務経済常任委員会抽出事業について】

(1) 地域資源を生かした観光振興

- ①資源を活用して町民が利用できる様な施設としたら良い。大公園を造っては。今はなにも無い。夏もリフトを稼働したら良い。
- ②スカイパーク山頂に夏ソフトクリーム、アイスコーヒー店を出店しては。
- ③観光メニューの一つに景観をPRして農村ホームステイを取り入れる。
- ④キャンプ場を再整備し、釣りや川辺で子どもたちが遊ぶことができるよう環境整備を行う。
→台風の影響があり、国の河川改修工事、整備が終わらないと町の環境整備はできない。(議員)
- ⑤どうしたら人が集まるか。嵐山再生のためのワークショップを開催。町民が講師になる。

(2) 農村地域公共交通手段

- ①じゃがバスの必要な運行時刻のニーズを調査して運行する。夜7時頃の便があったらよい。シーズン限定でよい。商店街の活性化につながる。
- ②農村部の朝帯のスクールバスはすでに児童学生で満員である。高齢者の方は利用できないのではないか。
- ③福祉目的の視点でタクシーチケットを利用して、これに月数回分の助成処置をすることも考えては。免許証を返納する高齢者もいる。
- ④「じゃがバス」は、高齢者が使用する手押し車（歩行補助器）を持って乗車できない。出来るようにしてほしい。
- ⑤農村地帯の公共交通手段のための実態調査を行い、地域にあった運営形態の研究をすべきである。

2 その他

① 商店街の活性化

- ① 空き店舗が増えていて寂しい。芽室にしかないものを売る。人を呼ぶショップをつくる。
- ② 商店の人が町民のニーズを知る。人を呼び込むための仕掛けをする。

② 農地基盤整備

- ① 台風被害で水はけが悪くなった。暗渠の整備を願いたい。

③ 農業を核とした経済が循環したまちづくり

- ① 農業関連会社の誘致を行い雇用の創出を行うべき。
- ② 今後の農業労働力確保が避けられない重要課題。子育て世代のお母さん方の力を借りれる労働支援環境の整備をしてほしい。

④ 障がい者福祉の充実

- ① 障害を持つ児童・生徒が安心して生活・学習できる環境・施設整備を進めてほしい。
- ② ユニバーサルデザインが活かされた「まち」を期待したい

3 議会運営

① 議員との交流

- ① 議員との交流カフェ。テーマについて、議員と語り合う。距離が近くなると思う。

② 議会モニター制度

- ① 誰でも気軽に入れる登録モニター制度を創設してほしい。議会の応援団が増えまちづくりに関心を持ってもらえる。

平成 29 年度第 2 回議会モニター会議 意見交換会の概要

平成 30 年 1 月 23 日（火曜）午後 6 時 30 分～8 時 30 分
芽室町中央公民館 2 階講堂

- 出席：井原有二、高桑衣佳、鳥本和宏、中捨智也、廣田由美、堀井和宏、山川昌則、武藤雅紘、堀切佳寿子、高道 豊、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、松岡みちよ、木村真之(15 人)、議員 (15 人)
・各常任委員長から政策形成サイクル抽出事業の調査等進捗状況の報告について説明の後、意見交換に入る。

↓総務経済常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 地域資源を生かした観光振興

【嵐山・嵐山周辺】

① キャンプ場

- ①行きたくなるようなキャンプ場にしてほしい。
- ②いままでは魅力がなかった。
- ③子どもたちが遊ぶ場所がない。
- ④災害でいまはやっていないが整備してほしい。
- ⑤場所を変えるのもひとつの方法では。

② 展望台

- ①展望台からの景観を生かすために頂上に売店を設けることはできないのか？
- ②トイレも整備が必要。
- ③見て終わりじゃないプラスαを。
- ④キッチンカーに来てもらってソフトクリームなどやってはどうか。町の事業としてではなく気軽にできるシステム。
- ⑤10 年前芽室に移り住んで昨年初めて嵐山の展望台に上ってみた。確かにすばらしい景観で、多くの人が賞賛する理由を理解できたが、周辺施設の整備がなされていなくて寂れた印象を受けた。ここは改善すべき。

③ 宿泊施設

- ① 宿泊部門の収支はどのようになっているのか。採算は？
- ② もっとPRしてはどうか。
- ③ 泊まろうと思うには食事の充実が必要。

④ 入浴

- ① 入浴施設をもう少し整備してほしい。家庭的すぎる。
- ② 温泉風に！
- ③ 壁に嵐山の画を描いてはどうか。

⑤ イベント

- ① 嵐山フェスの開催(宇宙の森フェス、十勝ファーマーズマーケットのような)
- ② 以前は産業観光まつりで盛り上がっていた。

⑥ ガーデン

- ① せっかく山野草が美しいので、ガーデンフェアなど庭づくりに関するイベントは。
- ② 地域の人に整備してもらっては。
- ③ 年配の人でも楽しめるように(アクティブじゃない人でも)

⑦ サイクルツーリズム

- ① レンタサイクルがあると良い。

⑧ 財政面

- ① 民間の活力を。

【町全体の観光振興について】

① 道の駅

- ① 道の駅を国道38号線沿いにつくっては。
- ② 財政負担や場所をどうするか。

② 観光全体

- ① まちなかのイベント会場は駐車場も狭く不便である。嵐山をかつてのようなイベントの会場として使えるよう整備すれば賑わいが取り戻せるのではないか。

- ②芽室町一帯にある観光資源をどう活用させるのかをシステムティックに組み立てる必要がある。嵐山だけではない素晴らしい資源が芽室には沢山あるはず。(10線防風林など)
- ③東京から芽室に移住した。人がいないのが芽室の魅力だと考えている。これから観光振興策で沢山の人が芽室を訪れるようになると、他の観光地で起きているような畑に勝手に踏み入ったり、環境破壊などの問題が想定されないか。観光振興と環境保全のジレンマがある。
- ④【食と農】と言われているが、道外から来た人たちは、それ以外の自然環境についても感激していた。今後、移住定住促進で外部から多くの移住者が増えれば、地元住民が気付かない芽室の良さを見つけて貰えるかもしれない。

(2) 農村地域公共交通手段

- ①免許返納者だけではなく、高校生も含めた交通弱者の足の確保をどうするかが課題。
- ②地域住民の自発的な取組みを町が応援するシステム。
- ③タクシーを利用する際に、同じ方向に行く人を乗せていけるようなアプリやシステムはないか。
- ④嵐山のバスを利用して嵐山周辺地域の方の公共交通を確保しては。
- ⑤病院だけの利用であれば、病院が車を確保することもひとつの方法では。
- ⑥単体の事業でやると費用がかかるが複合的にやることでコスト削減につながるのでは。
- ⑦今現在、高齢者は家族に頼みごとをする際の気兼ねや遠慮があるのかもしれないため、必要な政策だと思う。
- ⑧タクシー券助成で終わらせるのではなく、もっと町内の個人タクシーや福祉タクシーなど関連する事業者ともしっかりと協議していく必要があると思う。
- ⑨助成がばらまきにならないよう慎重に取り組むべき。新しい事業が始まる前には持続可能な事業かどうかをしっかりと見極める必要がある。

【厚生文教常任委員会抽出事業について】

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

- ①以前かかりつけだった小児科医師が退職後は、その医師が開業しているクリニックまで、距離はあるが通っている。
- ②公立病院は混んでいて利用しにくい。
- ③子どもが病気になり入院が必要になった時は、小児科医師は一人体制で帯

広市内の病院に自分も付き添うため一緒に入院をした。

- ④転勤族であるため実家の支援はない。もう一人の子どもはまだ小さく夫と二人で頑張った経験がある。子どもが病気の際には地元の病院が利用できるかと助かる。
- ⑤良い医師がいて通いたくなるが、そうじゃない医師の時には二度と来たくなくなる。やはり医師の資質は重要。もっと戦略的に良い医師獲得にむけ、町も議会も取り組むべき。
- ⑥医師や看護師が定着しない病院は信頼できない。職員の定着が課題。
- ⑦ターミナルケアを担う科と産科小児科は存続させるべき。

2 その他

①教育

- ①西地区の校区割りについては検討してほしい。子どもたちの部活動が成り立たないし、子どもたちの社会性を育成する上で、少人数校ならではの問題もあるように感じる。
- ②少年団も活動にも制限が出てくる。西小から芽小までの移動ができないため少年団をあきらめる子もいる。この事についても対策が必要だと思う。
- ③教育の充実が一番重要。若者の都会への流出が問題となっているが、進学先が都会にあることも理由の一つだと思う

②ごみ対策

- ①芽室町のゴミステーションは箱型だったりネットだったりバラバラで、カラスに荒らされる場所も多いし頭を悩ませている。徳島では自治体が金属製の箱型ゴミステーションを設置しており、そこには【自治体が設置したもので勝手に中のゴミを持ち出さないように】と書かれていた。芽室でも同様の対策はできないのか。→一般質問で取り上げた際の答弁内容等について説明

③じゃがバス

- ①じゃがバスは高校生が通学時間に使えるようなダイヤも組んでほしい。朝の通学時間、駅まで行けるような時間帯にも走ってほしい。1時間に1本走らせてはどうか。

↓厚生文教常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

①診療科

- ①歯科がなくなるとの事だが、町内にも歯科医院があり赤字の状態では歯科の休止・廃止もやむを得ない。
- ②産婦人科については継続を望んでいる。
- ③特色のある診療科は残して欲しい。
- ④近隣に大きな医療圏（帯広）があり、赤字の解消のためには診療科の精選も必要である。

②公立病院の重要性

- ①地域医療としての果たす役割は大きい。
- ②高齢者にとって帯広の医療機関に通うのは困難であり、公立芽室病院は必要である。

③その他

- ①空き病床をいかになくすか。例えば、高齢者介護のために使えないか。
→歯科の休止・廃止、病床利用率の低迷、経営状況などを説明。
- ②看護師の方々の対応が良い。

○まとめ

公立芽室病院の経営状況は厳しいが、創意工夫し存続して欲しい。

(2) スポーツのしやすい環境づくり

①プール

- ①大きな大会が開催でき、プロも呼べるような環境整備、また合宿で使ってもらえるようなスポーツ環境も必要ではないか。

②周辺整備

- ①帯広の森との位置づけをはっきりさせ、発信でれば良いと思う。
→プール整備について、平成30年度に整備手法が決定されることなどについて説明。

③野球場

- ①野球場の整備計画はどうなっているのか。

○まとめ

子ども、町民のためのスポーツ環境整備を。

(3) 学校教育の充実

①多忙化

- ①親も先生方も忙しく、余裕がない。
- ②先生方にこれ以上、求められない。

②部活動

- ①外部コーチの活用の状況はどうなっているのか。
- ②上美生中には野球部がなく以前、西中にお世話になったが、顧問をつけて欲しいとの話であった。合同チームの現状はどうなっているのか。

③地域

- ①地域での子育てが必要。地域で互いに助け合えるといい。

④その他

- ①芽室はGBの発祥の地。小学生の参加は多くなってきたが、中学生になったらやめてしまう。中学校でもGBを続けることができる体制をとってほしい。
→部活動の合同チームの現状、中体連の規約などについて、担当課に照会する旨を伝える。

○まとめ

先生方も保護者も多忙化で余裕はないと思うが、みんなで子どもたちを見ていくことが重要である。

(4) 安心して生み育てることができる子育て支援

①子どもの居場所

- ①子どもの居場所づくりは、親も安心できいいとりくみと思う。
- ②農村地区の子どもたちの利用はどのようになっているのか。
→1月16日から開始された、「子どもの居場所」のとりくみについて説明。

○まとめ

共働き家庭が増えており、家に帰ったら一人という子どもが多い。とりくみを進めて欲しい。

【総務経済常任委員会抽出事業について】

(1) 地域資源を生かした観光振興

- ①スキー場の来場数はどのような状況なのか。
- ②集客のための情報周知などに不足はないか。
- ③トイレなど施設整備、充実が必要である。
- ④社長が町長という運営方法はどうか。
- ⑤嵐山は料理おいしく、料金も安くとてもいいところなのに、PR不足なのかインパクトが感じられない。
- ⑥チラシが白黒では「おいしさ」が分からない。
→それぞれの整備計画、復旧状況について説明。嵐山については、「嵐山の経営形態のあり方」について行革推進委員会から提言が出されていることを説明。

2 議会運営

①議会モニター制度

- ①町でどんなことがおこっているのか、生活のなかではなかなか考えていなかった。自分に関わってくることも多いので、これからは、声を上げていきたい。
- ②初めて参加して、みなさん凄いなと思った。他の方の意見を聴く機会がなかなかはなかったのでとても勉強になった。
- ③芽室をどうしようと思っても、1人では難しい。みんなで意見を出し合うことの重要性を知った。
- ④議会だよりに、少し固さを感じる。
- ⑤議会だよりはサッと目をとおすだけだった。今は、知らないことがいっぱいあり、しっかり読むようになり、関心も高まった。

平成 29 年度第 3 回議会モニター会議 意見交換会の概要

平成 30 年 6 月 20 日（水曜）午後 6 時 30 分～8 時 30 分
芽室町中央公民館 2 階講堂

- 出席：井原有二、高桑衣佳、鳥本和宏、廣田由美、長谷川修、堀切佳寿子、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、松岡みちよ（10 人）、議員（13 人）
- ・各グループに分かれ、「モニター活動を振り返って」「これからのモニター活動をどうすべきか」などについて意見交換する。

↓総務経済常任委員会

1 まちづくりについて

(1) 教育について

- ①教員の多忙化など少年団活動なども難しさがある。指導者になるにも資格が必要なので指導者育成が課題になってくるのではないかと思う。（資格をとるための助成制度はあるがもっと広めていくことが必要）。

(2) 子育てについて

- ①子育て世代には買い物ポイント制度など支援が手厚いと感じているが、独居高齢者に同様のサービスがあっても良いのではないか。健康ポイント制度などあるが、まだ就労継続している高齢者も多く、運動できる様な時間のゆとりがないように感じる。

(3) 除雪について

- ①昨年の広報誌に、冬場の間口除雪は出来ない、と町の考え方が掲載されていたがそういう対応はないと思う。もっといろいろな方法を工夫する姿勢が必要ではないか。

（議員）総務経済常任委員会内部でも、課題と考え何度か議員同士話をしたことがある。人材不足の課題もあり、町だけではなく住民も交え、みんなで良い方法を考えていかなければならない時期に来ていると思う。

（議員）町の課題は町だけではなく住民も一緒に解決の方法に取り組まなければならない時代に来ている。

- ②高齢者の家族介護の問題は、これから自分自身も心配に感じている。
- ③仕事をしながら家族の介護をしているか方の話を聞くが切実な問題だ。
- ④自分も出来れば高齢の親は施設で見てほしい。

(議員) 芽室町は施設介護を望む人が多いが、現状全てのニーズを満たすのは難しい。家族だけの問題にせず、地域全体で家族の負担を軽減する政策や、不安や悩みを発散できる場所がさらに必要になる。

(4) その他

- ①人口減少に向けたまちづくりについて、他の町を見て研修してきてほしい。

2 モニター制度について

(1) モニター活動を振り返って

- ①初めて一般質問の傍聴に行った。町長が答弁した後も、何度も同じ質問を繰り返していたが、質問の仕方を工夫すると違う答弁がもらえたように感じた。
(議員) 一般質問について、外部から感想をいただく機会が少ないので貴重なご意見として伺います。

- ②一回目の会議の中で、多様な世代が参加しやすいためのアイデアとして、青空議会や赤ちゃん連れでも参加しやすい議会運営を提案したが、同席の議員に取り合ってもらえなかったと感じた。

(議員) 多様な世代の参加こそが、今まさに芽室町議会が取り組んでいる事なので、議員のその様な発言があったのは残念だ。昨年度は、高校生との意見交換会の中で、読みやすい議会だよりの紙面づくりにも取り組んだ。

- ③モニター会議はもっといろんな世代の人たちに集まってほしい場だと考えている。

(議員) モニターさんも得意分野がそれぞれで、多様な人材が参加し、多様なご意見を頂くことに意義があると考えている(議長)

- ④あらためて町のことについて考える機会になり、いい勉強になった。将来の子どもたちのためにこれからも取組んでもほしい。
- ⑤議会だよりをしっかり読むようになった。議員が町のことについて真剣に考えていることがわかった。
- ⑥議員は事前に質疑を準備して、それに対して職員も答えながら前に進んでいるということがわかった。
- ⑦モニターになる人がもっと増えればいいと思う。気軽に参加できる雰囲気があるとよい。
- ⑧PTA との意見交換会の取組みは身近に感じられていいと思う。
- ⑨芽室が 1 番住みよい町だということ子どもたちに言えるような町にして

ほしいと思うようになった。

(2) これからのモニター活動

- ①レポート提出が負担だった。
- ②自分の考えを文章にするのが難しいのと、議会だよりに実名顔写真入りで掲載されるので、辛口な内容が書きにくい。モニター会議やフォーラムの様な場を増やして意見交換をする方が気楽だ。
- ③議員はバッチを外してカジュアルな服装で来てほしい。その方がリックスできる。
- ④議員抜きモニター会議があっても良いと思う。
- ⑤議会だよりに掲載する原稿の校正の為に FAX を貰うが、自分は必要ない。また、送信時の表書きは不要(インクリボンの節約のため)
- ⑥年間の会議開催数を増やし、自分の都合のよい時に参加できる様な方法は良いと思う。その方が参加の機会が増える。(開催数について、議員からの質問への回答)
- ⑦モニターの20人という人数は良いと思う。
- ⑧会議の回数は3回くらいがちょうどよい。
- ⑨モニター経験者があるとその良さを周りに伝えていければと思う。
- ⑩1年目ではなかなかわからないことが多いが、2年目になってようやく見えてくることもあると思う。
- ⑪モニターは難しいと思っている人が多い。もっと気軽に参加してもらえようになればいい。
- ⑫議会とは何ぞやというの、傍聴してみるとわかる部分があるのではないかなと思う。
- ⑬モニター体験ができるような機会があればよい。
- ⑭各団体にモニターを選出してもらうのも1つの方法では。
- ⑮議員と直接話すことができるので、毎年20人を入れ替えるのもありだと思う。(たくさんの人に経験してもらいたい)
- ⑯モニター会議で意見を言うのはいいが、文章にするのが苦手。文章として残ってしまうので匿名やペンネームにするのも方法だと思う。
- ⑰知っている議員がいると話しやすいが、議員というだけで見えない壁があると感じている。

3 議会運営について

- ①今回の未来フォーラムⅢは良かった。
- ②もっともっと住民同士が話し合える場があると良い

- ③周囲の若い人たちに、議会だよりを読んでいるか尋ねるが、全く読んでいない人が多い。
- ④漫画風にすると読んでくれるのかなど色々考えてしまう。
- ⑤平成6年ころまでは、芽室町議会には女性議員が一人もいなかったと記憶している。その当時に比べると今の議会はとても進化したと感じている。
- ⑦議会には多様な人材が必要。
- ⑧地域の運動会などに議員が来てくれると身近に感じ、話ができるのでいいと思う。そういった機会が減ると余計に壁を感じてしまう。
- ⑨視察、研修などどんどん出ていってもらって、いいものをたくさん持ち帰って芽室町にいかしてほしい。未来への必要な経費だと思う。

↓ 厚生文教常任委員会

1 まちづくりについて

(1) 生涯学習について

- ①陶芸に興味があるが学ぶ場所がなかなか見当たらない。(柏樹学園に入学する年齢でもない)
- ②年齢の違う方々との学ぶ、交流するということも大切と思う。(高齢者の方々など)
(議員) 高齢者の方々、また、異世代と共に学ぶことは大切なことと思う。
- ③芽室にいる時間も少ないが、プールとか図書館はよく利用する。多くの情報を得ることができる施設としての機能を充実してほしい。

(2) 観光について

- ①キャンピングカーの展示会があったが、その折に車中泊ができる道の駅の情報提供があった。例えば、嵐山でも車中泊ができるとしたら集客にもつながるのではないか。

2 モニター制度について

(1) モニター活動を振り返って

- ①(1年目の方) 議員の方々とは気さくに会話ができる機会であって、身近に感じ良かったと思っている。
- ②議員は選挙で選ばれて、それで終わりではない。町民とは身近なところにあるべきものと思っている。一般町民も身近なところであって欲しいと思っている。
- ③議場から離れた場で話し合い、意見を聞いてもらうことはモニターの役割で

参加できて良かったと思っている。

④1年目は議員の方の人物像が見えなかったが2年目は各議員の活動の細かいところまで見えてきたように思えた。会を重ねることによって、理解が深まった。いろいろな意見をもっておられて、すこぶる参考になっている。

⑤モニター制度は大事である。2年間無駄ではなかった。

⑥狭い世代感でいたんだなと気づいた。もっと広い視野を持たないといけないと感じた。

(議員)他の町村ではこの様な形(モニター制度)は少ないと思う。モニターの方と話し合い意見交換できることは議会として有難く思っている。

(議員)モニターの方が何を求めているか、考える必要があると思う。時間的制約もあるが過去にモニターを務めてくれた方との懇談会の際、意見をもらった。

(議員)議員活動も浅くままならないとき、モニターは何をされるのか、理解するのに時間がかかった。

⑦モニターとしての仕事はなかなかできなかったが、少し議会が身近になった。

⑧モニターにならなかつたら、わからなかったことがたくさんあったと思う。

⑨庁舎建設をテーマにしたモニター会議は有意義であった。

⑩モニター会議での議論は自由度があつて良かった。

⑪帯広に勤めているので、18時30分からの会議は少々きつかった。

⑫連絡手段はFAXでなく、メールのやりとりの方が便利である。

⑬モニター会議の意見など、議会としても是非反映してほしい。

(議員)いただいた意見は、委員会等で共有し反映していきたい。

(2) これからのモニター活動

①テーマが興味のあるグループに所属できないことがあつた。興味がないので意見は出しづらかつた。テーマを選んでグループに所属できるようにしてほしい。

②モニター経験者が多くいると良いと思う。少人数でも町民として集まる機会を作つたら良いと思う。議会に興味を持たれるには、まず、議員に興味を持たれるような機会が多くあると良い。議員とは身近な関係で居られる。

③モニターOBも多くなつたら、月に1回程度懇談の場が持てるようになるのではないかと。

④テーマは漠然としたものではなく、今この事案でこれこれの多くの意見がある。モニターの方はどうでしょうかと諮る場があつて良い。

⑤テーマによって多くの情報を示すことによって、モニターの方は意見を出しやすくなると思う。

- ⑥モニターは意見を出し合う立場であって、結論を出す場ではないと思っている。
- ⑦モニターは誰にでも出来る。大丈夫だよと言いたい。モニターのなり手が多くなるように努力したい。
(議員) 町民個々から意見を聞くわけにもいかない。モニターからいろんな意見をもらって、何か形を出せればよい。モニター制度を町民の方に関心を持ってもらい、モニターなってもらいたい。
(議員) 年3回の会議はどう思われますか。
- ⑧この程度で良い。
- ⑨関心のあるテーマには出席する。
- ⑩身近に、気軽に参加できるモニター会議を継続してほしい。
- ⑪多くの議員と話せる機会としてのモニター会議であってほしい。
- ⑫今のモニター会議のスタイルを継承してほしい。
- ⑬様々な課題(嵐山とかプールなど)に対して行ってみる、見てみるといった現場主義的な活動(青空会議)もあっていいのではないか。
- ⑭会議の回数を多くすると、参加の機会も増えるが現状では厳しさもある。
- ⑮原稿の投稿は大きな負担となっている。
(議員) 原稿投稿の負担については事務局とも相談。
(議員) 行ってみる。見てみるといった発想は新しい視点。

(3) モニターの意見がどこまで反映されているか

- ①議会だよりによって、ある程度理解している。
- ②議会だよりは読んでいます。
- ③議会モニターの声で意見が出ており、反映していると思う。
- ④モニターの意見が一つでも二つでも成果につながり、形になると良い。
(議員) そこが課題なのです。なかなかできていないのが現状です。
- ⑤モニターの意見が通る通らないは関係ないと思う。議会がどう扱うかである。
(議員) 出された意見は十分に検討させて頂いている。
(議員) モニターの意見はある程度、反映されていると理解させてもらってよろしいですね。

3 議会運営について

- ①行政は意見を伺いますと言うが、ちゃんと聞いてくれるのだろうか、方針は決まっているのではないかと思うことがある。議会においても様々な意見の反映を期待する。
- ②議員が町民、住民の意見を聞くことも重要だが、住民に対して何かリクエスト

トをするとといった双方の対話も必要ではないか。

4 その他

①傍聴に行ったおり、議員と身近でコーヒーを頂いた。ざっくばらに意見交換した。新庁舎にはこの様な場所は考えているのでしょうか。

(議員) 町民と意見交換が出来るような場所を設計に織り込んである。

◎モニター会議の振り返り、今後の活動、そして情報提供の充実、また、行政と議会、議員と住民との関わりなど多くの意見をいただき有意義な会議を終えることができた。

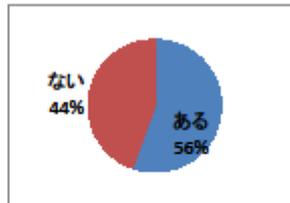


議会モニターアンケートの結果(参考)

□ 実施時期	平成30年6月
□ 対象者	20
□ 回答者	10
□ 回答率	50.0%

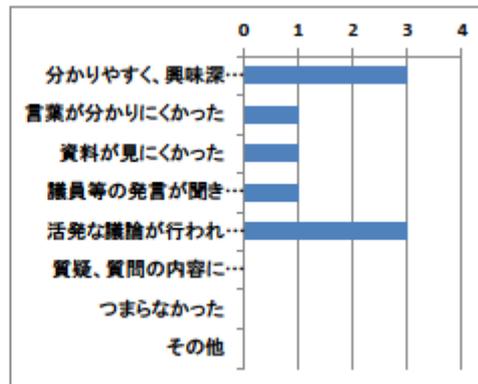
問1 議会（委員会等を含む）を傍聴したことがありますか（インターネット中継を除く）。

1 ある	5
2 ない	4



問2 問1で「ある」と回答した方に伺います。傍聴した会議の印象はいかがでしたか（複数回答可）

1 分かりやすく、興味深かった	3
2 言葉が分かりにくかった	1
3 資料が見にくかった	1
4 議員等の発言が聞き取りにくかった	1
5 活発な議論が行われると感じた	3
6 質疑、質問の内容に満足できなかった	0
7 つまらなかった	0
8 その他	0



問2 (2) 問1で「ある」と回答した方に伺います。議場の傍聴席はいかがでしたか。

1 良い	5
2 良くない	0

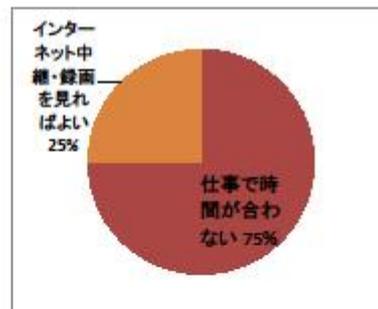
問2 委員会室の傍聴席はいかがでしたか。

(3)

1 良い	1
2 良くない	0

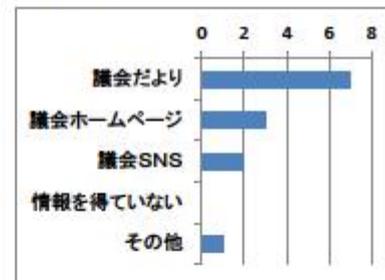
問3 問1で「ない」と回答した方に伺います。傍聴したことがない理由は何ですか。

1 議会に興味がない	0
2 仕事で時間が合わない	3
3 面倒である	0
4 会議の開始日程が分からない	0
5 議会だよりを見ればよい	0
6 インターネット中継・録画を見ればよい	1
7 その他	0



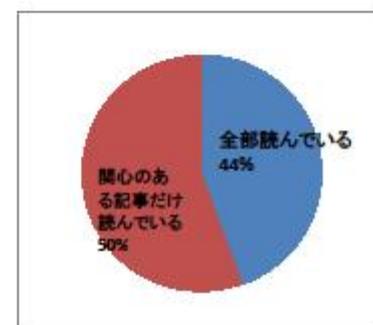
問4 議会に関する情報をどのように得ていますか（複数回答可）

1 議会だより	7
2 議会ホームページ	3
3 議会SNS	2
4 情報を得ていない	0
5 その他	1



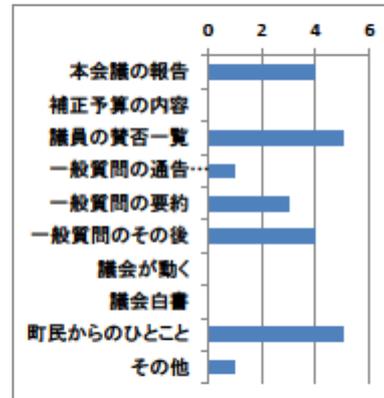
問5 議会だより（毎月発行）を読んでいますか。

1 全部読んでいる	4
2 関心のある記事だけ読んでいる	5
3 読んでいない	0



問6 問5で「全部読んでいる」「関心がある記事だけ読んでいる」と回答した方に伺います。議会だよりで良く読む項目は何ですか。（3つまで選択可）

1 本会議の報告	4
2 補正予算の内容	0
3 議員の賛否一覧	5
4 一般質問の通告内容	1
5 一般質問の要約	3
6 一般質問のその後	4
7 議会が動く	0
8 議会白書	0
9 町民からのひとこと	5
10 その他	1



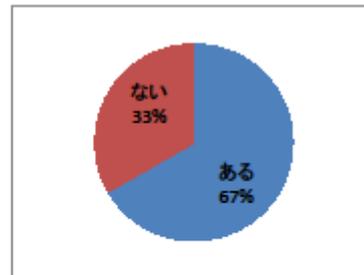
※その時に興味をもった記事

問7 議会だよりの感想、要望等を自由にご記入ください。

【別紙参照】

問8 議会ホームページをご覧になったことはありますか。

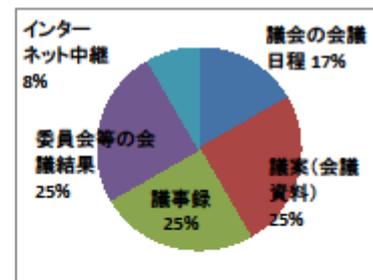
1 ある	6
2 ない	3
3 無回答	0



問9 問8で「ある」と回答した方に伺います。良く見る項目は何ですか（複数回答可）

(1)

1 議会の会議日程	2
2 議案（会議資料）	3
3 議事録	3
4 委員会等の会議結果	3
5 インターネット中継	1
6 その他	0

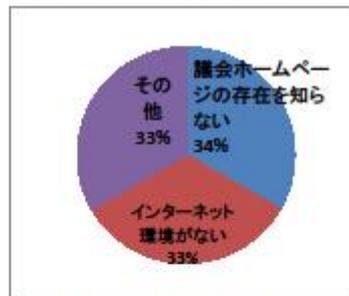


問9 ホームページの感想、要望等を自由にご記入ください。
(2)

【別紙参照】

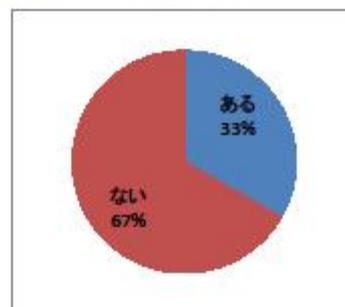
問10 問8で「ない」と回答した方に伺います。議会ホームページを見ない理由は何ですか。

1 議会ホームページの存在を知らない	1
2 インターネット環境がない	1
3 興味がない	0
4 その他	1



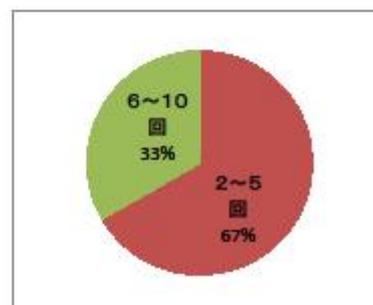
問11 インターネットで議会の生中継・録画放送をご覧になったことはありますか。

1 ある	3
2 ない	6



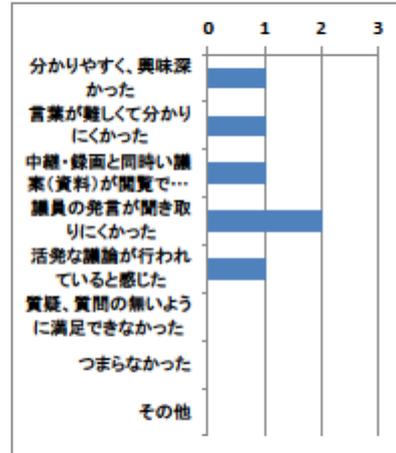
問12 問11で「ある」と回答した方に伺います。インターネット議会生中継・録画をどのくらい見えていますか。

1 1回	0
2 2～5回	2
3 6～10回	1
4 10回以上	0



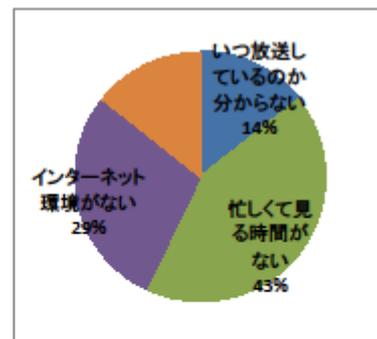
問12 インターネット中継・録画を見た感想を教えてください。(複数回答可)
(2)

1 分かりやすく、興味深かった	1
2 言葉が難しくて分かりにくかった	1
3 中継・録画と同時議案(資料)が閲覧できず分かりにくい	1
4 議員の発言が聞き取りにくかった	2
5 活発な議論が行われていると感じた	1
6 質疑、質問の無いように満足できなかった	0
7 つまらなかった	0
8 その他	0



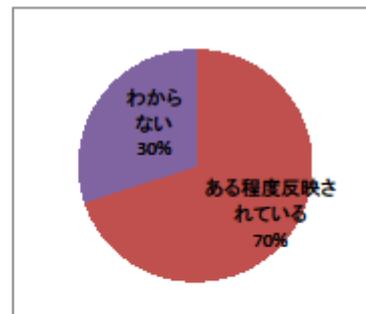
問13 問11で「ない」と回答した方に伺います。インターネット中継・録画を見た事がない理由は何ですか。

1 いつ放送しているのか分からない	1
2 閲覧の方法が分からない	0
3 忙しくて見る時間がない	3
4 インターネット環境がない	2
5 興味がない	0
6 その他 ・ネット速度が遅くて	1



問14 芽室町議会に町民の声が反映されていると思いますか。

1 反映されている	0
2 ある程度反映されている	7
3 反映されていない	0
4 わからない	3
5 無回答	0

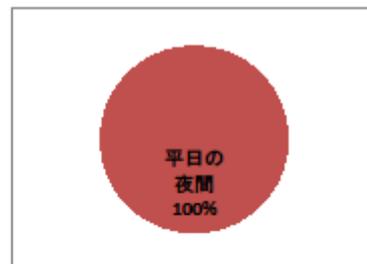


問15 問14のように感じる理由をご記入ください。

【別紙参照】

問16 議会モニターと町議会との意見交換会について伺います。会議の開催時間帯はいつごろが良いですか。

1 平日の日中	0
2 平日の夜間	8
3 休日の日中	0
4 休日の夜間	0

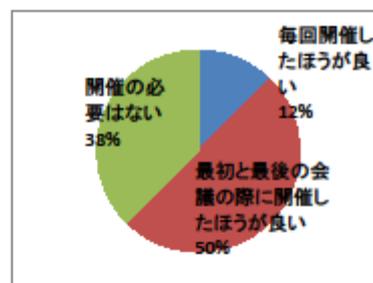


問16 意見交換会終了後の懇談会の開催についてどう思われますか。

(2)

1 毎回開催したほうが良い	1
2 最初と最後の会議の際に開催したほうが良い	4
3 開催の必要はない	3
4 その他	0

・懇談会にて良い意見が出やすいので実施した方が良い

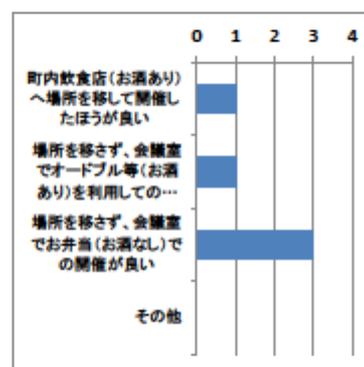


問16 開催場所、内容についてはどう思われますか。(複数回答可)

(3)

1 町内飲食店(お酒あり)へ場所を移して開催したほうが良い	1
2 場所を移さず、会議室でオードブル等(お酒あり)を利用したほうが良い	1
3 場所を移さず、会議室でお弁当(お酒なし)での開催が良い	3
4 その他	0

・内容は事務局の負担にならない様行って下さい



問7 議会だよりの感想等

- 写真やイラストが多用されていて、読みやすい。
- 議会の中に議員さんの日常を特集して欲しい。
- 毎回わかりやすく良いです。
- 年配の方も結構よろこんでいるので、字を大きくして欲しい。
- 文字ばかりで読んでいるうちに飽きてしまう事があります。見出しやイラストなどを用いて、多くの方に興味を持って頂けるような、工夫をしていただきたいと思います。
- モニターになってから、全部読むようになりました。町民にわかりやすいようにこれからもよろしくお願いします。
- 議会が身近に感じられる。

問9-2 ホームページの感想等

- 知りたい情報になかなかたどり着けない（自分の使い方が下手なだけかもしれないが）。
- 内容が十分要約されて良いと思います。
- 見やすく良いです。
- 見やすい。調べたいところにたどり着くことができる。容易と思う。

問15 町民の声が反映されている、いないと思う理由

- 議員の議会外活動により、要望事項が議員を通し議会で討議されることがあるから。
- 議員さんが話をよく聞いてくれる。現状や問題点などの説明も丁寧でわかりやすい。
- 町民の意が十分把握されていないと思われます。
- 具体的にはうまく書けませんが議会の声は反映されていると思っています。役場より対応が早いです。
- ?や質問に必ず返事が次回等に書かれている。
- どのような声が町民から上がっているのかわからない為、反映されているかどうか不明です。
- 要望が議会から町に伝っている。
- 町民の意見を聴く機会を数多く開いたりしているから。

問17 各委員会の抽出事業についてのご意見

【総務経済常任委員会】

1 地域資源を活かした観光振興

- 農産物や嵐山の景観という素晴らしいものがありながら、生かしきれていない感じがする。嵐山はもう少しきちんと整備をしないと、観光地として成り立たないと思う。
- PRの対応がどこまで出来るかが大切ですね。
- スカイパークがもう少し町民が利用しやすいイベント等を実施してみてはどうでしょうか？
- 芽室町とは・・・と聞かれた場合、なんと答えていいかわからない。是非立ち寄ってみたいと思うような施設や場所があると良いなと感じます。
- 商工夏祭りの花火がなくなったので、嵐山でやったらいいと思います。
- 新嵐山の経営が来年度変わると聞いています。現在の様な町主体の第3セクターではダメではないか？
- 景観も生かして、家族で行ってみたいと思える公園設備を。

2 農村地域公共交通手段

- 農村地域の方々が使いやすいことを大前提にして決めてほしい。住民の自家用車を使った乗り合いのような制度が良いように思うが、白タクなどの問題で難しいのか？
- 他町村での例等を参考に対応が必要と思われます。
- あいのりタクシーを検討してみてはどうでしょうか？
- 高齢者の事故のニュースをよく見るので、早急にやってほしい。

【厚生文教常任委員会】

1 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

- 町民の現在の正の評価・負の評価を見極め、将来の期待について正確に把握できる方法で行う。
- 医師が頻繁に離職したりすることが信頼を失う原因なのではないか？先生がコロコロと変わる病院は患者としても受診したくない。医師が長く勤めてくれる、魅力的な病院にするべき。芽室病院がなくなれば、農村地域の

人は帯広の病院まで通わなくてはならず、さらに交通という面で負担が増えることになるので、何とか維持、存続してほしい。

- 地域サービスとして対応を改善・見直してはどうでしょうか？芽室病院での益を表に出して、挨拶運動等、医者と町民の結び付きを強めていってはどうですか？
- 救急外来をもっと発展させるべきと思います。
- 私はあまり利用したことがないのでわかりません。イメージは高齢者の方が多く利用しているような感じがします。
- 何故だか個人病院に通院している方が多いように思います。待ち時間の関係なのか？公立病院は必要なので維持できるように、これからも調査ほかお願いしたいと思う。
- 今年度公立の歯科がなくなりましたが、再び再開する予定があるのか？
- 外科にすばらしい先生がいる。アピールも大事かと。

2 高齢者福祉の充実

- 特定のテーマに的を絞って、ある程度深みのある調査をしたほうが良いと思われる。
- 介護の分野で、介護職員の待遇や介護サービスの質などに問題を抱えていることはニュースなどで知っているが、実際に芽室町ではどのような状況なのか、よく理解していない。
- 60歳以上の人々にも介護サービスする人材として雇用対応して行くのも必要。
- 介護の仕事はとても大変だと聞いたことがあります。ぜひ待遇改善をお願いします。
- 人材確保が一番の課題と思います。町民の若手を仕事がない人を補充してみては

3 スポーツしやすい環境づくり

- 町民プールは冬季でも町民が体を動かせる場所として大切だと思っている。新しいプールを作る際には、使いやすさや維持コストなど、他の市町村の例をみながら、長く使える施設にしてほしい。
- 60歳以上でも務めてる人々が多いのでスポーツを行うには65～70歳になってしまうか、小・中校生が中心となり町民が一致して行えるイベント的対応も含め検討しては？
- 今のままでも良いかと思います。

- 多くの子を見ていて…日曜日も土曜日も働く、休みのとれない親をもって
いる子も多し…大会の時に付き添い又、送り迎え等でスポーツを断念して
いる子も多いのではないか？
- 子どもたちが誰でも皆、スポーツができるような環境を作ってほしいと思
います。プール、体育館、野球場など、誰もが自由に使える場所が必要！
- 当、芽室町が発祥の地であるゲートボール、町職員が多くすれば、又、学
校などで（少年団があるので中学校から）部活に入れたら…？

4 学校教育の充実

- 学校の先生はただでさえ業務内容が多い上に、新しい教科や教育方針の転
換により負担が大きくなっている気がする。
- 英語が大切な時代ですので、5. 生涯学習と同様、全ての町民が一様に校
外で学ぶ対応が出来ると良いと思いました。大人も小人も同じで。
- どんな子にも使命があると（早く目を出す子）おそくから伸びる子、必ずチ
ャンスはあると思う。ここを忘れず教育して欲しい。
- 少年団や部活動で土日もない時が多く感じます。生徒もですが指導の先生
も週に一日は休みをあげて欲しいと思います。子供が二人以上いる家庭は
親もきついです。
- 部活動の練習時間をもう少し短くするとか、休日を設けることを推進して
は。

5 生涯学習の推進

- 農業小学校や親子で農業体験できる機会など、子ども達が町の主要産業で
ある農業に触れる機会が多いのが良いと思う。また、柏樹学園の方々が子
ども達と触れあう機会も多く、幅広い年齢の人同士が交流し、学びあえる
今の体制はとて素晴らしいと思う。
- 小グループでの活動で趣味が生かされて学習が、教える人になる様な対応
が良いと思います。
- 今や90代100代は普通の時代に入ってきました。死ぬまで勉強といわ
れた「仲人さんの言葉が心につきささる」例えば→お年寄りとはもう少し
ゆっくり話して下さいと言われ・・・
- 白樹学園がありますが毎年少なくなっています。増える工夫を考えて欲し
い。又、教員委員会でシニアカレッジがありましたが2回位で消滅してし
まいました。白樹学園以上にも生涯学習の出来る場所が欲しい。

6 安心して生み育てることができる子育て支援

- 必要な人に届いて、長期間継続できる事業になることに期待。
- 支援は十分ですか？大学まで行けますか？
- 子供は宝物、皆で育てる（近所の子も）大きな心で接していきたい。
- 小学校・できれば中学まで医療費の助成があると助かります。
- 子育てのしやすい芽室町となるようお願いします。

問18 議会に対するご意見、ご要望

- 障害者に対する支援が不十分かと思います。オークルや美生にあるファームは頑張っていると思います。しかし、町内の店・商業者は障害者を雇用していませんね？銀行はどうですか？工場はどうですか？役場はどうですか？役場の下請けの会社はどうですか？全国一の町をめざして欲しいですね。
- 1年間貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。議会モニターを体験させていただいてなければ、議会に興味を持つことが無かったかもと感じています。

問19 まちづくりへのご提案

- 問18と同様ですが、障害者・青少年・高齢者は芽室町に5年先・10年先・20年先住みたい町でしょうか？全国一住みたい町を目標に町・町民・議員・頑張っていきたいものです。
- 役場職員の電話応対等が悪いです。職員の対応も最悪。役場じたいも非常に暗く入りづらいし夜おそくまで仕事をして税金の無駄使いかと思います。
- 議会とは関係ないと思いますが質問です。町づくりだと思いますが、コーンチャーハンに代わる商品を開発で、あんかけ焼きそばと記事などでみましたが、以前から小樽の町おこしで進めているのに、なぜ芽室町で同じ商品を選んだのかが不思議です。

議会モニターレポート内容（参考）

○長谷川 修さん

このたび議会モニターとして9月定例会議を傍聴させていただきました。

9月1日の「北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施」を求める陳情は、不採択と決定されました。最近ミサイルが北海道上空を飛行し、将来町として対策できる案件ではないですが、今の子どもたちの将来の安全を考えると避けて通れる課題ではなく、国や道と連携し町民の安全確保を精対応が必要になると思いました。

上水道事業会計の余剰金処分の議案については、原案通り議決しましたが、寺町議員から質問のあったことに対する町からの答弁は、かみ合っていませんでした。昨年や例年がどうのということではなく「何が必要なのか」の答えが簡潔に返答なされるべきだと思いました。

議論はとても大切ですし改善発展や解決はそこにあります！

町・議会・町民が一致協力して将来の世代に残すべき芽室のすみよいまちにしていきたいものですね。

町・議員の皆様の誠実でスムーズな議会運営に感謝致します！

○井原 有二さん

これまで私は、町議会は予算・決算等の議案を審議し、政策立案を行い、条例を制定するなど、漠然とした認識しかありませんでした。

議会傍聴などにより、議会の果たすべき役割と現状について、私の認識が多少深まったように感じます。

議会の議論を聞いていますと、市町村が主体的に進められる事業は非常に限られていて、国・都道府県の権限、多様な補助金等により、数々の制約の中で進めなければならない実態が見えてきました。

議員におかれては、議会議員研修会などの機会により、政策立案能力を高められ、町民に課題を提示し、町政を牽引していただけることを期待しています。

さて、私たち町民にとって、陳情・誓願等による、主体的な活動により議会民主主義に関わることも大切な事と思えます。

また、地方議会として、都道府県・国に対する意見書の提出等の活動により、住民・国民の多様な意見が反映される仕組み作りも肝要な事と感じております。

○高桑 衣佳さん

11月9日、厚生文教常任委員会で「子どもの居場所づくり推進事業」が議案としてあがっていました。子どもの貧困対策として全国的にも広がっている「子ども食堂」のような事業を芽室で始めるための議論です。

芽室では、放課後一人で過ごす時間の長い子ども、孤食の機会が多い子ども等も対象となるようです。様々な事情を抱える子どもが多い中、子どもの孤立を防ぐことができ、また地域の大人と一緒に過ごすことで、事故や事件などから子どもを守れるという面で保護者も安心できる場になる可能性があると感じます。

必要な子どもに行き届き、長期継続されるような事業になるために、事業開始までのしっかりとした議論と準備が必要で、今後も注視していきたい議案です。

委員会の開かれた11月9日は、時間があわず庁舎まで足を運ぶことが出来ませんでした。委員会の様子は議会のホームページから会議記録を閲覧することで知りました。私はモニターになるまで芽室議会のホームページは見たこともなかったのですが、最近は便利さに気づき、インターネット中継や会議記録の閲覧のためによく利用しています。今後も議会と関わることで自分の気になっている町の問題について「知ろう」という意欲を持ち続けたいと思います。

○川野 陽美さん

11月9日、第19回厚生文教常任委員会を録画中継で拝見しました。

前回の傍聴同様議員の方々が熱心に議論しており、とても頼もしく感じました。

ひとつの事業について何度も話し合い質問をする。それぞれ違った意見があり、自分はどの議員と近い考えをしているかな、など考えながら傍聴していると自分も参加しているような感覚になり、正直楽しかったです。

今回の議題であった子どもの居場所づくり事業が、この先どうなるのか見届けたいと思いました。

○廣田 由美さん

議会モニター経験者との意見交換会を傍聴し「最初は構えて参加していたけれども、議会のことを知るだけでも良いと思うと楽になった。」という声に共感しました。また、モニターさんと議員さんの対話の積み重ねによって、モニター制度がより参加しやすくなって

きたことがわかりました。

すまいる（町の広報紙）モニター記事で「議会モニター制度」を取材しましたが、取材しようと思ったのは、議会モニター経験を通じて事務局の皆さんや議員さんたちと知り合えて、身近になったからだと思います。

モニターを終えた後も、経験者との会があったら参加し、せっかくいただいた「ご縁」をつないでいきたいと思いました。

○堀井 和宏さん

11月27日、総務経済常任委員会を傍聴しました。

議題は「地域公共交通確保対策事業」で、PTAとの対話でもいろいろとお聞きしましたが、高齢者の免許返納による農村地域の交通手段の問題、管外、管内の事例を説明されましたが、芽室町に合う事例がなく、タクシー代補助だと芽室町に合うタクシー業態がなく、事業の継続が困難になると思います。国と道の補助があるにしても、すぐに解決は難しいと思います。継続で検討していただけるみたいですので、今後とも、いろいろな自治体の事例をもとに、実現に向けていただけるようよろしくお願いします。

○堀切佳寿子さん

9月20日の本会議録画を視聴しました。

介護保険制度については私の親も高齢になり身近な問題であり、誰もが避けては通れない重要な問題で、特に関心があります。

質疑の中から、国の介護保険制度が、費用・サービスともに後退していること、その中でも芽室町は頑張っている部分があることが見て取れました。

ただ、介護保険事業の総合事業と、地域包括ケアシステムについては内容を聞けば聞くほど将来に不安を感じています。

「地域の自助共助」や「ボランティアの活動」を隠れ蓑に、介護保険サービスを後退させることのないように、今後も議員の皆さんには住民の立場に立った議会活動をしていただきたいと思います。

○山川 昌則さん

議会モニター会議や議会HPの会議資料で印象に残ったことの一つ、新嵐山スカイパークの在り方についての感想です。

私から見た現状の嵐山は、展望台からの眺望は素晴らしいし、スキー場としては身近で便利であるという点は、町民として誇れる点だと思います。しかし残念ながら、宿泊施設は集客で苦戦しているよう

ですし、台風の影響などもありキャンプ場も再開のめどがたたない状況です。夏場は牧場としてや、散策コース、スポーツ施設などもあるのですが、中途半端な状態のように思います。

今後は景観や自然環境を生かした公園のような部門に積極的に町が整備をすすめる魅力を高める努力をして、宿泊や、スキーなど収益を上げることが可能な部門は民間の力をなるべく活用していくように、運営の面からもメリハリをつけていくべきではないかと感じました。

○加藤 順子さん

先日ドキドキしながら、初めて議会モニター会議に参加させて頂きました。議会モニターと議員さんたちとのワークショップでは、議員さんから「何でもいので日頃思っている事、感じている事をおっしゃって下さい」と言われ、とても気軽な感じで皆さんと意見交換をしました。

他の方たちのご意見では、同じ芽室町でも、住む場所が違くと環境も変わり、苦労や不便な生活を強いられる状況がある事も分かりました。

誰しも日々の暮らしで思う事はあっても、それ意見を行政まで伝える事はない事がほとんどだと思います。でも今回の議会モニター会議では、1人1人の意見が行政にダイレクトに届く事がとても素晴らしい事だと思いました。

芽室町では、議会モニターやそよ風トークなど、町民の声をダイレクトに聴く場を設けています。皆さんも気軽に参加して、日頃思っている事や感じている事などを行政に届けてみてはいかがでしょうか。そして、より良い芽室町にして行けたら良いですね。

○藤村八重子さん

私にすれば孫？子ども？のような若い方々と芽室町の未来をディスカッションする機会に参加できました。

生まれた時からほとんどのものがそろっている環境に育っている若い方、情報化社会に流されない生き方で頑張っていてほしいと思いました。

若い方たちも必ず年はとります。心だけはいつまでも「青年」の気持ち生活をしてください。これは私自身に言い聞かせていることでも・・・

今後も一人でもいい区の方々の参加を願っています。未来あるわが街を町民で育てていこう！

○高道 豊さん

モニター会議に参加して、様々な観点から色々な話しをしていく中で、沢山の問題や疑問がある事に気付きました。その中でも、芽室町の観光についての話をした時、嵐山から眺める風景や自然、静かでのどかな農村の風景など、都会から来た人にとっては、素晴らしい価値であり、観光資源であるという話しに、生まれてからずっと住んでいて気付いていなかった価値に、気付かせてもらえました。また、嵐山の施設や看板などの設備も老朽化に伴う再整備の必要性もあるが、町民一人ひとりがその価値に付き、PRする事といろんな場面で利用する事が大切だと思いました。

モニターの皆さんと話すと、今まで住みながらも町の事をあまり考えていなかった自分がある事に気付く事ができ、大切な機会を与えてもらったなと思っています。

○鳥本 和弘さん

このモニター会議を通じて議員の方やモニター1人1人の方と芽室町の未来の話しをする事で、自分1人ではなかなか考えなかった事や、子供達がこの町を好きで帰ってきたくなる町づくり、スポーツや習い事が出来る環境であってほしいと、改めて思いました。

特に冬季オリンピックで盛り上がった今年！芽室町からもオリンピック選手やメダリストが出てくれる事で、子供達の夢や希望を持つ事が出来るかなと感じます。

町内各体育施設の老朽化や、台風による施設の崩壊など考えなくてはならないなか、子供のみならず高齢者の方もスポーツがしやすい環境づくりをお願いしたいです。

○岩佐 幸治さん

議会だより2月号の高校生と議員の意見交換を読みました。

若い人の意見を聞くことはいいことだと思いました。これからの時代を担うのは彼ら若い人なので!!

記事では議会だよりを多くの人に読んでもらうためのアイデアを出してもらった様子が出ています。議員の声として「なるほどー」というアイデアや、気付かなかった意見が多く出されたことが書かれてありました。

今後も高校生との活発な意見交換などが行われることを望みます。また、議員も高校生の意見をむだにせず、形にしてもらえると、若者の関心も高まると思います。

○小森 豊弘さん

議会だより2月号より。

高校生と議会に意見交換会についての感想です。

恥ずかしながら、あまり政治や議会などには関心が薄く、高校生の意見に共感が持てました。

若い時は選挙権を持っていても私が町づくりの一員だ！とあまり考えたことなく、年齢を重ねるごとに知合いが行政に携わるのみで、少しずつ関心がわいてくるようになりました。

意見交換会のような場が中学・高校など学生の頃から経験出来れば、選挙に行き、自分の1票で選ばれた代表が行政でどのような問題をどのように解決したのかなどの分かり、とても良い経験になると思います。

議会だよりもあり方も、発行しても、見て読んでいただかないと意味がないと思います。

行政に関心のある方ばかりでないと思うので、若い世代が興味を持つ見出しや内容やレイアウト、イラストなども盛り込み、わかりやすく町民が親しみやすい議会だよりにしていただきたいと感じました。

○小林 覚さん

残念ながら議会を1回しか傍聴できませんでしたが議会フォーラム、意見交換会、町民ディスカッションなどに参加ができ、自分的にも勉強になりました。議員の皆さんが我々町民とともに勉強し、芽室町を良くしようとする姿勢が伝わってきました。

しかしながら気づいたこともありました。議会傍聴で議員が質問し、理事者が答えましたが、同じような質問をして、議長からその都度注意を受ける場面を見ました。考え方が違うので、その場はいったん質問をやめた方がいいのではないのでしょうか。

また議員との意見交換会では、芽室町の基幹産業の農業の体験、嵐山での体験などの意見が出されました。しかしながら一部の議員からは「芽室は宿泊するところが少ないので近隣の市町に泊まり、そこから来て体験をしていただく」といい言葉が出ました。私は、意見交換会に集まった人、議員、各種団体と連携し、知恵を出し合い、いかに芽室町に人を呼び、宿泊していただき、芽室町はいいところだ、面白いところだと、リピーターが増えるように考えなければいけないのではないのでしょうか。

町の代表でもある議員と一緒に微力ながら芽室町の活性化に協力させていただきます。

○松岡みちよさん

議会だより4月号を読みました。平成30年度予算でサイクルツーリズム事業が新規で取組まれることになったと書かれていました。

私はモニター会議に参加して、たくさんの方々とお話ができ、その中で意見として出たサイクルツーリズムが実現されるということはとても素晴らしいことだと思います。

これからもどんどん町民の意見も参考にさせていただいて「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える芽室町になってほしいと思います。

○木村 真之さん

1年間、議会モニターを務めさせて頂き一番感じたこと、それは1人1人の議員の方々が芽室町のことを想い、本当に一生懸命活動してくれているんだということでした。

近隣市町村に住む友人から「芽室町は活気があっていいよね～」と言われることがあるのですが、その理由の1つとして議員の方々が一生懸命に町の課題に向き合っているということが言えると思います。

日々の生活に追われ自分たちのことだけで精一杯になりがちではありますが、今回参加し皆さんから沢山の刺激を頂きました。

この町に住む以上、町の課題を人まかせにするのではなく自分ごととして考えなくてはと改めて気付かされた議会モニター活動でした！

○長谷川 修さん

今の芽室町は将来全国で一番住みたい町となっているのでしょうか？若者、中堅、高齢者はどうでしょうか？職場はブラック企業ではなく十分働けますか？

障がい者の九神ファーム、良いと思いますが、役場や大手企業、役場が業務を依頼している企業すべて、2.5%雇用の要求をクリアしていますか？2.5%にとどまらず5%でも10%でも良いわけで、業務上の工夫で行政が指導すれば、できることではないですか。税金はそのためのもの。

嵐山の景観と夜景はなぜ認知されないのでしょうか？

高齢者の生活難民を、人口減少に対し町のプランを考案し、住宅地の週っ役と大きな工業用地を確保しなければ、今の若者は、芽室を支

えていただけますか？

芽室町は、舛政 19 年度、多くの不祥事がありましたが、マスコミ対策や外部に出てはならない情報が出ているのはおかしいことであり、対策を町、議員、職員のコンプライアンスを徹底することが大切です。さらに町民に対しては、特段の配慮を示し、説明と信頼回復に努めていただきたいと思います。

○長谷川 修さん

今回、第 3 回モニター会議に出席させていただきました！

議員の皆様と事務局とモニターの皆様が多忙な時期にも関わらず多くの方の出席により活発な意見討議がなされて芽室町の将来に明るい方向性が見いだされ嬉しく思いました！

議員の方々には大変忙しい中ではありますが将来の芽室町の為により一層の研修調査視察を実施いただきより良いものを持って帰りこれからの芽室を背負っていく若い世代の方々に今から多くの費用をかけても研修視察をして将来に最良の財産残してすべての世代が 2 年先 5 年先 10 年先 20 年先日本一住みたくなる芽室町創成を目指して下さるようお願いいたします！

今回モニターをやらせていただき議会の中身や町・議員・職員の皆様方の働きを十分ではありませんが理解させていただくことができ感謝申し上げます！

議会を知ることはモニターの方々だけではなく町民全ての方々に窓口がひらかれており町を知り議会を知りその働きに参加することは町民の責任だと思いました！

明日の芽室町がどうなるかは町民の皆様一人一人の心に左右されており町民皆さんがモニターだと思います！

今回モニターをさせていただき大変良かったと思います！

町・議員・職員（事務局）の皆様方がとうございました！

芽室町議会モニター設置要綱

(平成24年3月30日制定)

(目的)

第1条 この要綱は、芽室町議会モニター（以下「町議会モニター」という。）を設置することにより、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、芽室町議会（以下「町議会」という。）の改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 町民 本町の区域内に居住する者をいう。
- (2) 会議 町議会の本会議、常任委員会、特別委員会及び町議会議長（以下「議長」という。）の下に設置する組織等をいう。

(定員)

第3条 町議会モニターの定員は、20人以内とする。ただし、議長が必要と認めるときは増員することができる。

(資格)

第4条 町議会モニターは、次の各号に定める要件を満たす者とする。

- (1) 年齢満18歳以上の町民であり、かつ、芽室町職員、議員又は各種行政委員でないこと。
- (2) 町議会のしくみ及び運営に関心があること。
- (3) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

(募集方法)

第5条 町議会モニターは公募とする。ただし、議長は適当と認めた団体等に対し、適任者の推薦を依頼することができる。

(委嘱)

第6条 町議会モニターは、公募者及び推せん者のうちから議長が委嘱する。
2 議長は、前項の規定による町議会モニターの委嘱に当っては、町議会モニターの年齢・居住地等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

(解任)

第7条 町議会モニターが次の各号のいずれかに該当するときは、議長は当該町議会モニターを解任できるものとする。

- (1) 第4条に規定する資格を失ったとき。
- (2) 町議会モニターから辞任の申し出があったとき。
- (3) その他議長が必要と認めるとき。

(任期)

第8条 町議会モニターの任期は1年とし、再任を妨げない。

(謝礼)

第9条 町議会モニターは無償とする。ただし、議長が必要と認めたときは、支給することができる。

(職務)

第10条 町議会モニターは、次の各号に定める職務を行うものとする。

- (1) 会議（非公開で行われるものを除く。）を傍聴し、当該会議の運営に関する意見を文書（電子メールを含む。以下この条において同じ。）により提出すること。
- (2) 「芽室町議会だより」及び「芽室町議会ホームページ」などに関する意見を文書により提出すること。
- (3) 議会の政策提案に関すること。
- (4) 議長が依頼した町議会の運営に関する調査事項に回答すること。
- (5) 町議会議員と1年に2回以上、意見交換を行うこと。
- (6) その他議長が必要と認めたこと。

(提言等の取扱い)

第11条 町議会モニターから提言等が提出されたときは、議長は必要に応じ関係する会議に当該提言等を送付し、当該会議において検討させるものとする。
2 前項の規定による検討結果は、原則として当該提言等を提出した町議会モニターに通知するとともに、議長が別に定める方法により公表するものとする。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は議長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成24年12月1日から施行する。
- 3 この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

歴代議会モ二夕一名簿（敬称略）

H24	明瀬健太郎 蘆田千秋 犬飼健二 猪野毛勝啓 大貫正光 児玉 渉 小森瑞恵 佐藤正行 竹内仁美 森浦英樹
H25	江崎 満 川合拓男 黒田卓裕 駒沢建治 小山智幸 鈴木久恵 鈴木哲也 土井久美子 馬場 繁 細野浩伸
H26	川瀬幸枝 下保孝志 川合卓男（再） 黒田卓裕（再） 駒澤建治（再） 小山智幸（再） 鈴木久恵（再） 中田智恵子 古田 聡 宮間教年
H27	大宮久美子、奥村紀之、下保孝志（再）、寺町智彦、中田智恵子（再） 西川幹生、畑中庸助、古田 聡（再）、武藤健護、宮間教年（再）
H28	市橋 明、井原有二、奥村紀之（再） 川野陽美、佐々木玄德 高桑衣佳、寺町智彦（再）、鳥本和宏、中捨智也、中田智恵子（再） 西川幹生（再）、西村有里、畑中庸助（再）、平岡早苗、廣田由美 堀井和宏、武藤健護（再）、山川昌則、山本雅代
H29	井原有二（再）、川野陽美（再）、佐々木玄德（再）、高桑衣佳（再） 鳥本和宏（再）、中捨智也（再）、廣田由美（再）、堀井和宏（再） 山川昌則（再）、長谷川修、武藤雅紘、岩佐幸治、堀切佳寿子 高道 豊、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、松岡みちよ 木村真之、小森豊弘
計	計79人（実人数55人）



北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel 0155-62-9731 fax0155-62-9813